

令和6年度吉川市下水道事業会計予算（案）概要

1 業務の予定量

区分	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
水洗化世帯数(世帯)	25,915	25,779	25,570	25,184	24,789
年間総排水量(m ³)	6,765,958	6,748,909	6,278,612	6,577,531	6,498,385
1日平均排水量(m ³)	18,537	18,490	17,202	18,021	17,804

※R2～4年度は確定値で、R5年度及び6年度は令和6年2月時の見込みの数値です。

主な建設改良事業 (単位:千円)

区分	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
管渠事業	663,926	852,070	311,370	386,600	350,174
ポンプ場事業	197,912	272,118	102,546	143,734	60,265

※ R2～R4年度は決算の数値で、R5～R6年度は当初予算の数値です。

R6年度の業務予定量は、

- (1) 水洗化世帯数は25,915世帯で、前年度に比べ136世帯(0.53%)の増加を見込んでいます。
- (2) 年間総排水量は、6,765,958 m³で、前年度に比べ17,049 m³(0.25%)の増加を見込んでいます。
- (3) 1日平均配水量は、18,537 m³で、前年度に比べ47 m³(0.25%)の増加を見込んでいます。
- (4) 主な建設改良事業につきましては、管渠事業6億6392万6千円で、前年度に比べ1億8814万4千円(△22.08%)減額しています。
また、ポンプ場事業は1億9791万2千円で、前年度に比べ7,420万6千円(△27.27%)減額しています。

2 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入

(単位:千円)

款	項	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
下水道事業収益		1,574,701	1,551,348	1,543,100	1,524,319	1,497,512
	営業収益	953,425	928,872	914,671	897,021	871,501
	営業外収益	621,276	622,476	627,067	627,179	625,985
	特別利益	0	0	1,362	119	26

※ R2～R4年度は決算の数値で、R5～R6年度は当初予算の数値です。

下水道事業収益は、前年度に比べ2335万3千円(1.51%)増額となっています。

営業収益・・・前年度に比べ2455万3千円(2.64%)増額

【下水道使用料】

下水道使用料は、6億8566万7千円を見込んでおり、前年度に比べ368万9千円(△0.54%)の減額となっています。

【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計及び松伏町が負担するもので、2億6473万2千円を見込んでおり、前年度に比べ2654万1千円(11.14%)増額となっております。

【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担する分及び高久ポンプ場に接続されている国の水門の点検の経費について国が負担するもので、55万1千円を見込んでおり、前年度と比べ5万8千円(△9.52%)減額となっております。

【その他営業収益】

その他営業収益は、手数料及びコピー代のほか一般会計からの負担金など247万5千円を見込んでおり、前年度に比べて175万9千円(245.67%)の増額となっております。

営業外収益・・・前年度に比べて120万円(△0.19%)減額

営業外収益は、6億2127万6千円を見込んでおり、前年度に比べて120万円(△0.19%)減額となっています。主なものは長期前受金戻入になります。

(2) 収益的支出

(単位：千円)

款	項	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
下水道事業費用		1,512,363	1,494,293	1,372,467	1,363,100	1,364,593
	営業費用	1,430,162	1,419,922	1,292,086	1,275,410	1,266,490
	営業外費用	79,177	71,358	74,351	73,031	94,978
	特別損失	24	13	6,030	14,659	3,125
	予備費	3,000	3,000	0	0	0

※ R2～R4年度は決算の数値で、R5～R6年度は当初予算の数値です。

下水道事業費用は、前年度に比べ1807万円(1.21%)増額となっています。

営業費用・・・前年度に比べ1024万円(0.72%)増額

【管渠費】

管渠費は、3606万2千円を見込んでいます。前年度に比べて733万2千円の減額となっております。主なものとして、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料に1588万6千円計上しております。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は、1億1,951万1千円を見込んでいます。前年度に比べて2,266万6千円の増額となっております。主なものとして、ポンプ場の施設管理に係る委託料に6,682万8千円、ポンプ施設の長寿命化計画策定業務委託料として1,991万円を計上しております。

【流域下水道費】

流域下水道費は、2億7,331万6千円を見込んでいます。前年度に比べて85万1千円の増額となっております。そのうち、汚水の処理場を有する県への負担金が2億7,063万9千円となっております。

【受託事業費】

受託事業費は、33万3千円を見込んでいます。前年度に比べて6万6千円の減額となっております。松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の維持管理の経費です。

【業務費】

業務費は、6,026万9千円を見込んでいます。前年度に比べて1,163万7千円の減額となります。主なものとして吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収委託料5,243万4千円を計上しております。

【総係費】

総係費は、下水道事業の管理事務を内容としており、5,000万4千円を見込んでいます。前年度に比べて1,78万3千円の増額となります。主なものとして、一般会計への負担金1,188万7千円を計上しております。

【減価償却費】

減価償却費は、8億7,355万9千円を見込んでおります。前年度に比べて1,246万1千円の増額となります。

【資産減耗費】

資産減耗費は、1,710万8千円を見込んでおります。前年度に比べて848万6千円の減額となります。内容としては、吉川橋の架替えに伴う污水管の撤去による資産除却分となります。

営業外費用・・・前年度に比べ781万9千円（10.96%）増額

営業外費用は、7,917万7千円です。内容としては、支払利息及び企業債取扱諸費並びに納付する消費税及び地方消費税です。前年度に比べ781万9千円（10.96%）増額となっています。内訳は、企業債等の支払利息が272万2千円の増額、消費税及び地方消費税が509万7千円の増額となっております。

3 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位：千円)

款	項	R6 年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度
資本的収入		1,077,116	1,362,872	667,140	790,510	657,573
	企業債	732,200	998,200	444,200	484,000	386,800
	他会計出資金	63,125	71,548	77,419	81,325	86,053
	国庫補助金	258,000	280,500	130,038	210,794	169,951
	負担金	23,791	12,624	15,480	14,387	14,769
	その他資本的収入	0	0	3	4	0

※ R2～R4 年度は決算の数値で、R5～R6 年度は当初予算の数値です。

資本的収入は、10 億 7711 万 6 千円で、前年度に比べ 2 億 8575 万 6 千円 (△20.97%) 減額となっています。

企業債

・・・前年度に比べ 2 億 6600 万円 (△26.65%) 減額

項目	R6 年度	R5 年度	増減
企業債	732,200	998,200	△266,000
建設改良費等に充てるための企業債	560,900	812,200	△251,300
流域下水道事業債	26,300	26,800	△500
資本費平準化債	145,000	159,200	△14,200

※資本費平準化債とは、固定資産の耐用年数と企業債の償還期間の差により生じる資金不足を解消する企業債

他会計出資金

・・・前年度に比べ 842 万 3 千円 (△11.77%) 減額

他会計出資金は、6312 万 5 千円で、前年度に比べ 842 万 3 千円 (△11.77%) 減額となっています。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金について計上しています。

国庫補助金

・・・前年度に比べ 2250 万円 (△8.02%) 減額

国庫補助金は、2 億 5800 万円を見込んでおります。内容としては、吉川美南駅東口における污水管及び雨水管布設工事において、社会資本整備総合交付金と社会資本整備総合交付金(防災・安全)を活用(補助率 1/2)し、污水管渠分として 1 億 5500 万円、雨水管渠分として 1 億 300 万円を計上しています。

負担金

・・・前年度に比べ 1116 万 7 千円 (88.46%) 増額

負担金は、2379 万 1 千円を見込んでおります。前年度に比べて 1116 万 7 千円 (88.46%) 増額となっています。内容としては資本的支出に係る人件費及び長期前受金として一般会計が負担するものです。

(2) 資本的支出

(単位：千円)

款	項	R6 年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度
資本的支出		1,364,794	1,626,247	897,696	1,019,429	915,054
	建設改良費	914,499	1,177,042	455,166	584,666	476,728
	企業債償還金	450,295	447,637	442,488	434,598	431,726
	固定資産購入費	0	1,568	42	165	6,600
	(補填額)	287,678	263,375	230,556	228,919	257,481

※ R2～R4 年度は決算の数値で、R5～R6 年度は当初予算の数値です。

資本的支出は、13 億 6479 万 4 千円で、前年度に比べ 2 億 6145 万 3 千円 (△16.00%) 減額となっています。

建設改良費・・・前年度に比べ 2 億 6254 万 3 千円 (△22.31%) 減額

建設改良費は、9 億 1449 万 9 千円で、前年度に比べ、2 億 6254 万 3 千円 (△22.31%) の減額となっています。

(単位 千円)

項目	R6 年度	R5年度	増減
建設改良費	914,499	1,177,042	△262,543
管渠費	663,926	852,070	△188,144
ポンプ場費	197,912	272,118	△74,206
流域下水道費	26,392	26,886	△494
業務費	26,269	25,968	301

【管渠費】

管渠費は 6 億 6392 万 6 千円を見込んでおり、前年度に比べて 1 億 8814 万 4 千円 (△22.08%) の減額となっております。主なものといたしましては、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業地内における污水管及び雨水管の布設工事となります。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は 1 億 9791 万 2 千円を見込んでおり、前年度に比べて 7420 万 6 千円 (△27.27%) の減額となっております。主なものといたしましては、吉川駅南No.1 ポンプ場及びNo.2 ポンプ場の施設更新工事などでございます。

【流域下水道費】

流域下水道費は 2639 万 2 千円を見込んでおり、前年度に比べて 49 万 4 千円 (△1.84%) の減額となっております。内容といたしましては、埼玉県中川流域下水道建設負担金となります。

【業務費】

業務費は 2626 万 9 千円を見込んでおり、前年度に比べて 30 万 1 千円 (1.16%) の増額となっております。主なものといたしましては、宅地開発に伴う下水道取付管の布設工事等でございます。

企業債償還金・・・前年度に比べ 265 万 8 千円 (0.59%) 増額

企業債償還金は、4億 5029 万 5 千円で、前年度に比べ 265 万 8 千円 (0.59%) の増額となっております。(単位 千円)

項目	R6 年度	R5 年度	増減額
建設改良費に充てる企業債償還金	358,952	360,082	△1,130
流域下水道事業債償還金	46,846	49,491	△2,645
資本平準化債償還金	44,497	38,064	6,433
合計	450,295	447,637	2,658

【補填財源】・・・前年度に比べ 2430 万 3 千円 (9.23%) 増加

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額で、2億 8767 万 8 千円で、前年度に比べ 2430 万 3 千円 (9.23%) 増加しています。

この不足額については、当年度分消費税資本的収支調整額 5608 万 1 千円、過年度分損益勘定留保資金 1 億 9523 万 6 千円及び減債積立金 3636 万 1 千円で補填します。

4 予定支出の各項の経費の金額の流用

公営企業運営の円滑化または経済性を十分発揮させるため、各項の間において、流用禁止項目以外のもので、予算執行上必要のある場合は、流用することができる経費を、**営業費用、営業外費用、特別損失**と定めるものです。

5 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

公営企業は、予算が機動的な経営を拘束することのないように、「目」の予算については、管理者（下水道事業にあっては、管理者の事務を行う市長）において流用することができるものとされています。ただし、**職員給与費**については、他の費目とは異なり、予算の流用を制限するものです。

6 棚卸資産購入限度額

棚卸資産として、緊急の工事に使用する使用するマンホールの蓋を貯蔵品として保有していますが、年度内に購入する**限度額を 31 万円**とするものです。

7 主な事業

(1) 清潔で快適な生活環境の確保

★ 水洗化率の向上

〔84千円〕

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、広報誌への記事の掲載、水洗便所改造資金の融資、水洗化促進通知を実施しています。

区 分	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
水 洗 化 率 (%)	97.1	97.1	96.9	96.5	96.3

※各年度末の数値。R5 年度については、R5 年 9 月末現在

(2) 効率的な施設整備

★ 管渠建設改良事業

〔645,620千円〕

○ 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事など

- ・ 工事設計業務委託（汚水・雨水）
- ・ 排水管布設工事費（汚水）：2795m
- ・ 排水管布設工事費（雨水）：1213m

★ ポンプ場設備更新事業

〔175,736千円〕

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、施設更新事業を実施します。

- ・ 東埼玉テクノポリス排水機場ポンプ修繕
- ・ 吉川中央第二調整池排水ゲートオーバーホール修繕
- ・ 吉川駅南No.1 排水機場制御盤更新工事
- ・ 吉川駅南No.2 排水機場制御盤更新工事
- ・ 高久雨水ポンプ場流入水量計更新工事
- ・ 共保雨水ポンプ場流入水量計更新工事

★ 設備の適正な維持管理

〔9,706千円〕

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等により設備の適正な維持管理を実施します。

- ・ 管渠内清掃業務委託
- ・ 管渠内調査業務委託
- ・ 突発的なマンホール修繕など

(3) 効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道をめざすためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であり、効率的な事業運営の推進に努めます。

★事務の効率化

[59,954 千円]

データの正確性、事務の効率化を推進していきます。

○下水道使用料徴収事務委託

- ・下水道使用料の徴収事務を民間事業者に委託することにより、事務の効率化及び収納率の向上を図ります。

○下水道台帳整備委託料及び資産管理台帳システム保守業務委託料

- ・下水道台帳の電子化を行い事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行います。